

2010年3月30日

各位

みずほ信託銀行株式会社

年金基金向け不動産私募ファンドの組成について

みずほ信託銀行株式会社（取締役社長 野中 隆史）は、本日、年金基金のお客さま向けに不動産私募ファンドを立ち上げ、物件の取得を完了いたしましたのでお知らせいたします。

1. ファンドの概要

投資形態	匿名組合出資による不動産私募ファンド
アセットマネージャー	みずほ信託銀行
ファンド規模	約 56 億円
投資対象物件	東京 23 区内の賃貸住宅
レバレッジ（借入金）	フルエクイティ（借入金は利用せず）

2. ファンドの特徴

不動産賃貸市場の現状や安定した利回りが期待される運用商品に対する年金基金のお客さまのニーズを勘案し、借入を利用しないフルエクイティの賃貸住宅ファンドとしました。投資対象物件の特徴は、築浅、駅近の安定した利回りが見込める物件です。

2009年8月に立ち上げたファンドと同様、レバレッジを用いないフルエクイティの投資を行ないますので、金利変動リスク、リファイナンスリスク、担保実行リスクが無く、従来型のレバレッジを用いたファンドと比べるとリスクが低いものになっています。

なお、本ファンドは募集が終了しており、現在は投資することができません。みずほ信託銀行では、お客さまのニーズや不動産市場の状況を踏まえて、引き続き、不動産私募ファンドの組成に取り組んで参ります。

以上